

オンライン教室の実録映像リンク収録



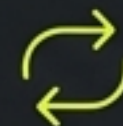
# 頑固な状態を打ち破れ： 戦術家たちのプレイブック

現場主義のCHROと「罰金マッチ」から学ぶ、自己更新の鉄則

[HR Strategy]

[Elite Sports Coaching]

[Cognitive Psychology]



「頑固」とは人間性ではない。  
それは「状態」である。

進化  
(Evolution)

変え続ける、  
変わり続ける

停滞  
(Stagnation)

悪い頑固の沼

人は更新すべき瞬間に、  
美しい言葉（「慎重さ」「信念」  
「美学」「誠実さ」「一貫性」）  
を盾にして変化を拒む。  
賢い人ほど、この罠に陥る。

Play Video ▶

# イオンの礎を築いた女・ 小嶋千鶴子氏の「真の現場主義」

Play Video ▶



【ROLE】

イオングループ  
最高人事責任者 (CHRO)

【ERA】

1960年代 (男尊女卑・年功序列の時代)

【MISSION】

23歳で親を亡くし、家業と弟  
(岡田卓也氏)の未来を背負う。

**攻めは事業拡大、守りは人材構築。  
「半世紀前に現代の『人的資本経営』を独力で構築した傑物」**

# 昭和の常識破壊：停滞を許さない圧倒的アップデート

[昭和]

縁故採用・コネ

寿退社・男性中心の職場

ただの労働力

座学中心

[小嶋]

全国の優秀な学生を募る  
「大卒定期採用の本格化」


パートタイマーや女性の「完全戦力化」

会社負担で教養を指導。「嫁をもらうなら  
ジャスコの店員にしろ」(人的資本経営)

事例研究・経営シミュレーション  
「ジャスコ大学院」設立(リスクリング)

# 危険信号：「問題ない」は思考停止のサイン

▶ Play Video



特に問題ありません

鋭く追及する

店舗巡回時の問いかけ：  
「問題あらへんか？」

現場主義とは単に現場に行くことではない。対話を通じて組織の解像度を上げる行為である。

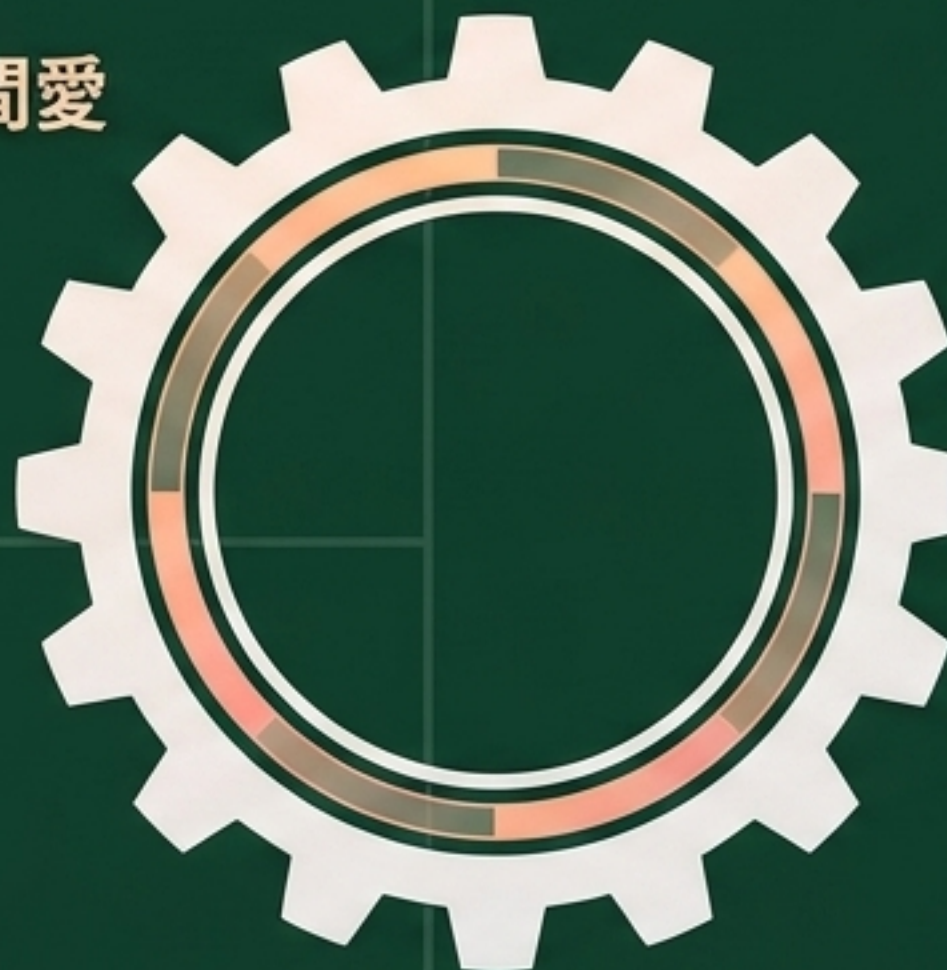
「特に問題ないです」という返答は、従業員の危機感の欠如を示す最大の危険信号。

→「お客様から苦情はないのか？  
欠品はないのか？」



# 究極のバランス：狂気的な人間愛 × 冷徹なリアリズム

狂気的な人間愛



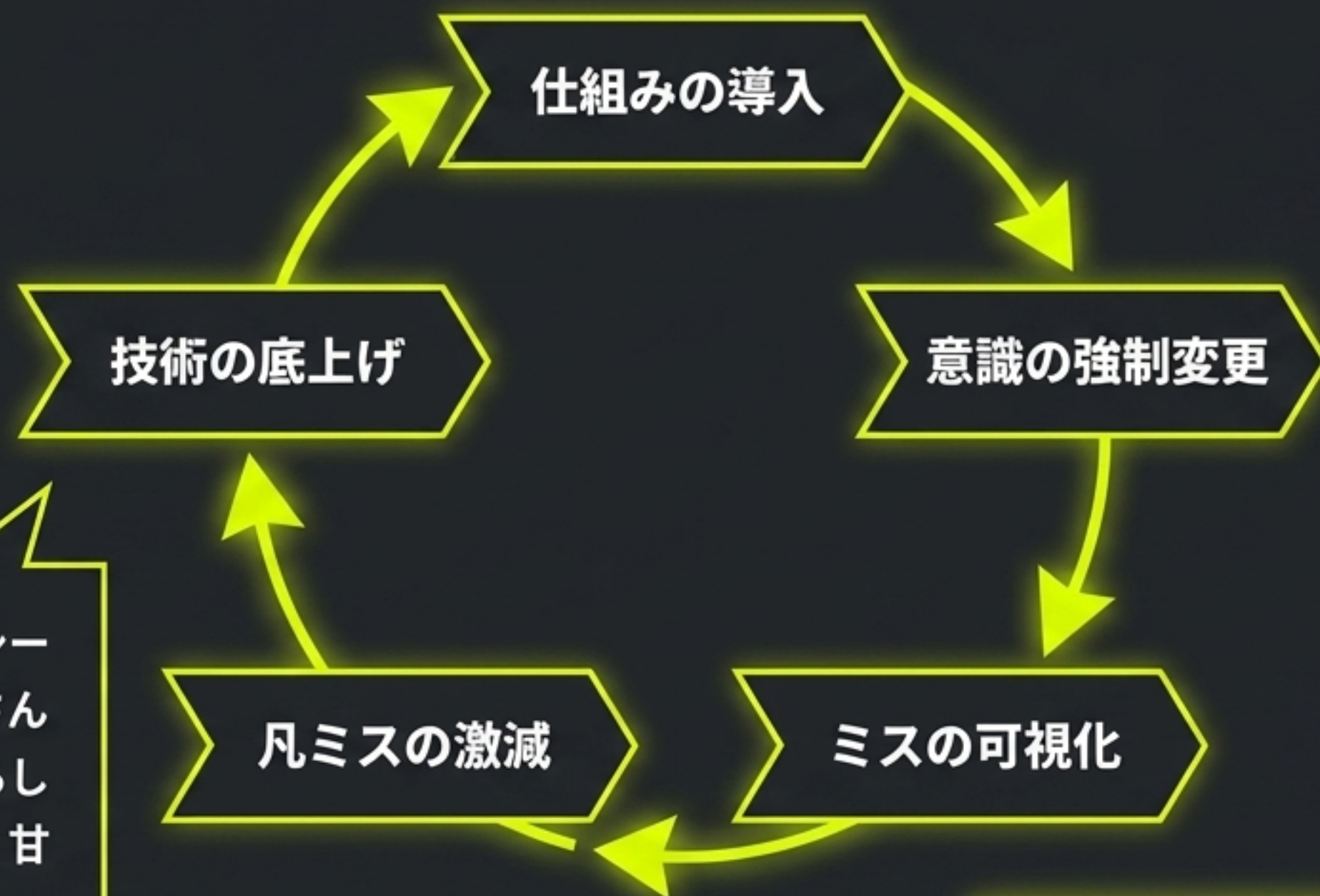
冷徹なリアリズム



- 相手の全人格的リスペクト。
- 社員のプライベートな危機（病気等）には、自らの人脈で大学病院を紹介するほどの深い庇護。

- 「虚構性の高い人物」の徹底排除。
- 自己顕示欲が強く、嘘や誇大表現を使う人間は、どれほど能力が高くても組織を分断するため排除する。

# コート上の冷徹なリアリズム：「下山罰金マッチ」



鈴木選手の積極性、ヨッシーさんのドライブ、ジーコさんの「昔にはなかった素晴らしい誘い」が絶賛される中、甘さには冷徹な判定が下る。

■◀ 実録：下山罰金マッチの動画を見る

# 「ミスはミス」：虚構を剥がす解像度

▶ Play Video

Cheap Advice



Excuses

巷の安い発言

~~強気に行けばミスじゃない~~

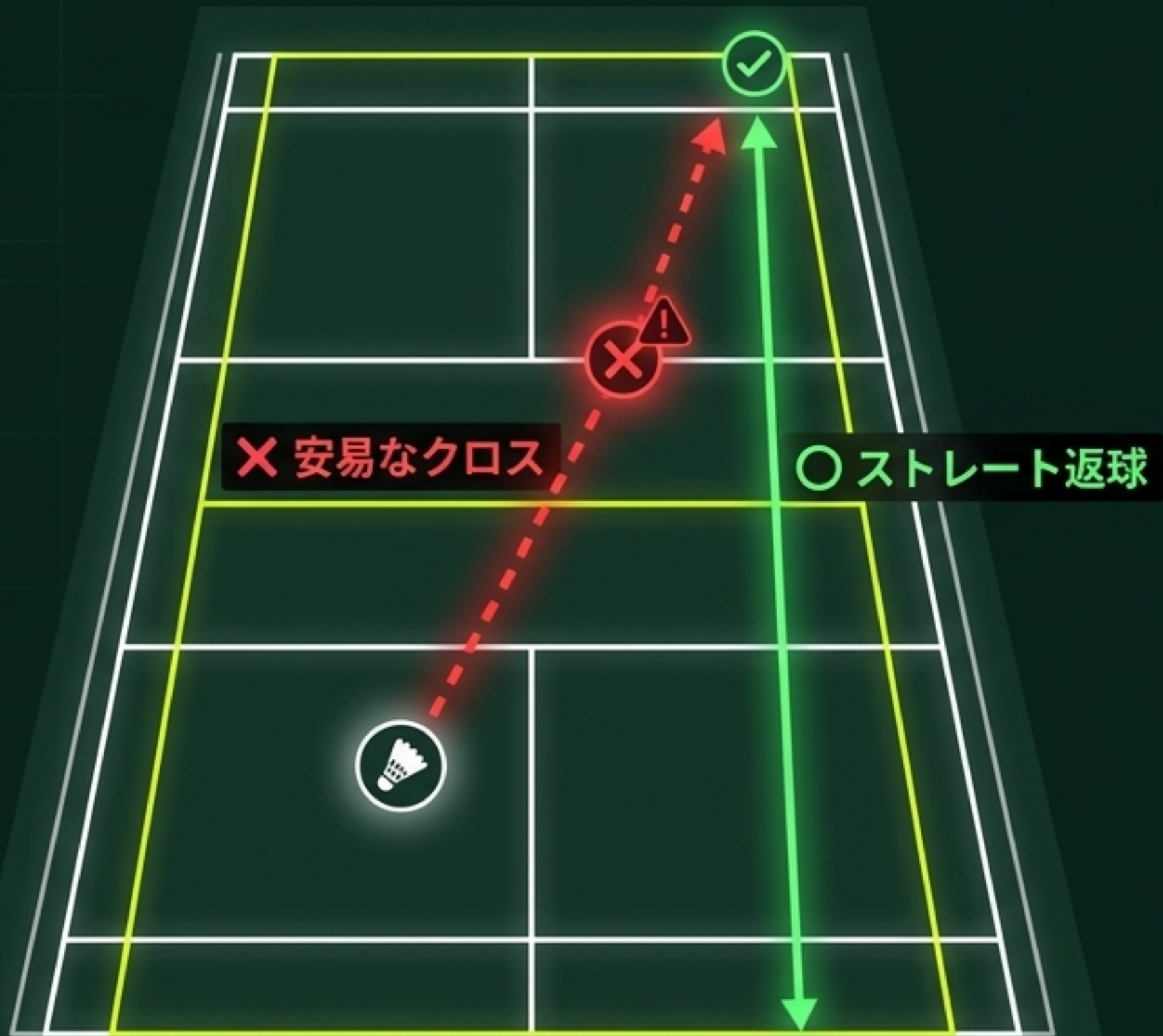


冷徹な判定

ガラ空きの半分を作り、  
大チャンスでのドロップ失敗。  
→ 「**完全なミスでしょ**」

“「あえて前衛に勝負しに行って強打されて返せない場合は、あまりミスとしてカウントしない方がいい。しかし、強気に行けばミスじゃないなどという安い発言はしない。ミスはミス。」”

# 配球の鉄則：クロスは虚栄、ストレートは再現性



× **安易なクロス**：読まれて先回りされるリスク大。前衛で抜かれる原因。

○ **ストレート返球**：自分に返ってくる確率が高く、味方全員がホームに戻る時間を稼げる。

これが「再現性のあるプレイ」であり、上のレベルでも通用する正しい選択。

 この配球解説を動画で確認

# 上達の最短距離：「我流」を捨てた素直な模倣

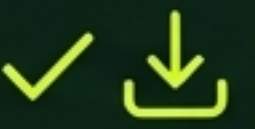
## The Trap of 我流 (Self-Styled Play)

美学や一貫性を言い訳にして、自分よりはるか上の人間のやり方を取り入れられない状態。結果、「とんちんかんなプレー」から抜け出せない。



## The Solution (模倣の精神)

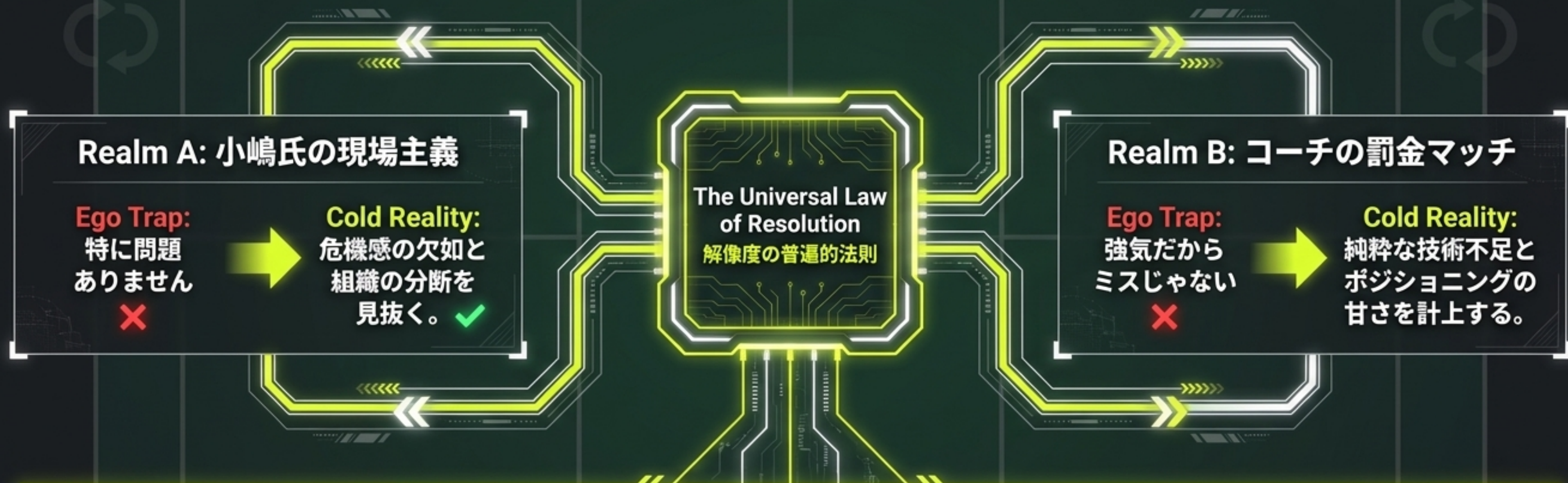
上手い人の「グリップの下げ方」「面を上に向ける作り方」「無駄のないフットワーク」を動画等で確認し、徹底的に真似る。



**Rule: 真似ができない我流は、成長を著しく阻害する。**

# 統合：ボードルームとコートを貫く「解像度」の法則

The Tacticians Playbook



対象が「組織」であれ「配球」であれ、成長の絶対条件は同じである。  
自らのエゴ（美学・我流）を捨て去り、現実の解像度を究極まで高めること。

この配球解説を動画で確認

# コーチング的5つの学び

1

## 状態の更新

頑固を「状態」と捉え、言い訳を捨てて自己更新せよ。

2

## 解像度向上

「問題ない」を疑い、対話によって現場の真実を掴め。

3

## 愛とリアリズム

狂気的な人間愛と、虚構を排除する冷徹なリアリズムを両立せよ。

4

## 素直な模倣

成長を阻害する「我流」を捨て、上手い人を徹底的に真似ろ。

5

## 環境の強制力


「罰金」のような仕組みで緊張感を生み、凡ミスを激減させよ。

▶ この配球解説を動画で確認

# Action: アウトプット習慣チェックリスト

- 指摘を「自分の美学」で拒絶していないか？
- 「問題ない」の言葉に一步踏み込んでいるか？
- 周囲の「自己顕示欲や誇大表現」を冷徹に見極めているか？
- パフォーマンス維持のための自己管理をしているか？
- 安易なクロスを避け、再現性の高いストレートを打っているか？
- 上手い選手のグリップや面を徹底的に模倣しているか？
- 前衛時、クロス側を意識した位置取りをしているか？
- ミスを「技術不足」か「ポジショニング」か冷静に切り分けたか？



 **オンライン教室の  
完全版動画を見る**

「罰金マッチ」の実態と、松友選手・奥原選手らの  
ドリームマッチ分析を今すぐ確認する。